

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚アートプロジェクト

1 事業種別	<u>行政提案型</u> ・ 自由提案型
2 事業名	宝塚現代美術てん・てん2023
3 事業の内容(実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。)	
2023・5・28	スタッフミーティング(8名)
2023・6・25	参加アーティスト説明会&会場下見会①(南口会館、38名)
2023・7・1	参加アーティスト説明会&会場下見会②(南口会館、22名)
2023・7・16	参加アーティスト展示エリア調整会(南口会館、40名)
2023・8	<u>チラシ、ポスター等の作成</u>
2023・9・24	参加アーティストを交えて最終ミーティング(南口会館・40名)
2023・10・15	スタッフ最終ミーティング(南口会館、8名)
2023・10 下旬	<u>展示エリアへの作品搬入開始</u>
2023・11・3 → 12	宝塚現代美術てん・てん 2023 開催 * 11・3・トークショー・ワークショップ・パフォーマンス大会(12日も開催) (会期中の延べ来場者数は、総数約 4,000 名)
2023・12・17	参加アーティストを交えての反省会(南口会館、38名)
2024・1 中旬	<u>記録集の作成</u>
2024・3	<u>記録誌の完成と同時に事業終了</u>
4 事業の効果・成果(事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。)	
①まち中にアートを展示することにより、買い物帰りの市民が身近にアートに触れる場を提供することができた。また、今回は展示エリアを拡げ平林寺(最寄逆瀬川駅)境内でも開催。まちの再発見に繋がった。	
②アート作品展示ポイントを線で結び、まちを周遊できる仕組み。スタンプラリーを今回も取り入れた。前回以上に家族でまちを周遊する姿を多く見かけた。アートでまちの賑わいをもたらすこととなった。	
③展覧会のみならず、未来を担う子どもたちを対象とした参加型ワークショップやパフォーマンス大会も回を重ねることで定着してきた。子どもたちが公園や河川敷でのびのびとアートに親しめる場づくりができた。	
④アート力と地域力をテーマにした一般市民を対象としたトークショーの開催。当日は我々のイベントデーでもあり、コーヒーフエスタの開催など他の団体と繋がることでより相乗効果を上げることとなった。	

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚温泉まつり実行委員会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	宝塚温泉まつりを軸に”自然の恵みと景観”を次世代に 継承しコミュニティを発展させる事業（開湯 800 年記念）
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入。）	（事業 1）第 3 回 宝塚温泉まつり （日時）2023 年 4 月 29 日（土）午前 11 時～午後 3 時 （場 所）武庫川右岸芝生広場 （参加人数）約 1200 名 （事業内容）子ども広場&パフォーマンスステージ ・紙芝居、温泉クイズ、温泉写真展、木工作、竹トンボ遊び、石ころアート、恐竜釣り ・ウイルキンソン炭酸 120 年記念「TANSAN ポルカ復活演奏」&振付ダンス楽しむ。 （事業に 2）ナゾの湯のまち宝塚一温泉と絶景の魅力を次世代に市民フォーラム 第 1 部 田辺真人さん基調講演 一温泉と絶景の魅力を次世代に 第 2 部 市街地の秘境 丁字ガ滝を未来遺産に 市民フォーラム （日時）2023 年 12 月 10 日 午後 1 時～4 時 （場所）宝塚市中央公民館 （参加人数） 100 名 （目的）温泉と絶景の魅力を共有。市街地の秘境丁字ガ滝を次世代への遺産として保存 （事業 3）旧宝塚温泉街の今昔MAPを頼りに塩尾寺まで歩く （日時）2024 年 3 月 3 日 午前 10 時～12 時 30 分（参加人数） 55 名 （場所）湯本公園から塩尾寺まで「温泉今昔 MAP」をもって歩き塩尾寺住職の話を聞く。 （目的）コミュニティの歴史を知り、温泉や景観など自然の恵みを知り次世代に伝える。
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	（事業 1）第 3 回宝塚温泉まつり&冊子「ナゾの湯のまち宝塚」の普及 ① 担い手として 25 団体と市民約 100 人が実行委員としてつながる ② 戸建&旧温泉住民と 50 棟のマンション群の住民が顔の見える関係になる ③ 舞台の司会を宝塚中放送部生徒等若い世代の舞台を作り我が町を体感できる ④ 児童は駄菓子屋体験、御輿巡行で地域に愛着が、地域は次世代に愛着が生まれる ⑤ 河川敷の市民活用を契機に宝塚市都市計画課や市民等が河川敷活用に動き出す。 ⑥ 宝塚温泉「ナチュラルスパ」指定管理で 2024 年以降も存続が決定。 ⑦ 細川貂々作「ナゾの湯のまち宝塚」が学校で広がり故郷への関心が高まる。 ⑧ 一小まちづくり計画の重点課題である、右岸の活性化につながる。 （事業 2）ナゾの湯のまち宝塚一次世代市民フォーラム ⑨ 田辺氏講演で「温泉・絶景の魅力」は健康・観光・共感などつなぐ資源と啓蒙 ⑩ 市街地の秘境 丁字ガ滝などを市民が再整備→官民で活かせる地域遺産と認識 （事業 3） ⑪ 温泉・炭酸の今昔散歩はマイクロツーリズムなど観光になることが再認識。 ⑫ 「温泉今昔 MAP」でのまち歩きは老若男女に地元への愛着を深める。 ⑬ まち歩きは地域の魅力の再発見し、まちづくりへの市民意識が向上する。 ⑭ 聖徳太子ゆかりの名刹で知名度は低い塩尾寺をまず、地元の住民が知る。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 ひらりんの会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	ひらりんフェスティバルを軸に街の歴史、文化、魅力を発信
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	名 称 ひらりんフェスティバル 日 時 2023年5月20日（土） 10：15～16：30 会 場 平林寺 主 催 ひらりんの会 対 象 阪神間を中心とした多くの方々 集 客 約800人 イベント パネルシアター、宇宙と星の話、音楽、落語 ワークショップ こども落語、子供浴衣着付けとかんたんヘア、 アロマスプレー作り、キャンドルづくり、念珠づくり 販 売 野菜、キーホルダー 娛 楽 射的、輪投げ、おみくじ 飲 食 クッキー、焼きそば、鯖ずし、ラスク、かき氷、サンドイッチ
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	開催地である逆瀬川－小林界限を知ってもらうために開催した経緯があります。 平林寺 塔頭の成福院は宝塚市立良元小学校の前身で寺子屋でした。 のどかな自然豊かな駅から徒歩5分の利便性のいい場所を気軽に散歩してもら えるようになれば嬉しいです。少しでも認知してもらえたらと良元小学校、第 一小学校、末広小学校の全生徒にチラシを配布しました。 毎年続けていくことで、街の歴史にふれていってほしいです。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 山本おさんぽマルシェ

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	山本おさんぽマルシェ

事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）

【事業の内容】

山本おさんぽマルシェ

日時 2023年10月14日 土曜日 10:00～16:00

場所 長尾ふれあい広場

来場者数 約300人

参加店舗 10店舗

イベント内容

*販売 野菜、フルーツ、加工品、コーヒー、焼き菓子、パン、スパイスカレー、手作り雑貨、インテリア雑貨、食器、フラワーアレンジメント、古書、綿菓子等

*体験 アロママッサージ、お灸、鍼体験、輪投げ



スタンプラリー

2023年10月1日～10月31日

場所 山本界限参加店舗 ※詳細は添付資料参照

景品 ナップザック型オリジナルデザインエコバック（つのむらじゅんこデザイン。
スタンプ5個で進呈。押印条件は各店舗で自由に決定）

マップ製作

魅力的な店舗が増えつつある山本の魅力を広く知ってもらうためにエコバックと同じくつのむらじゅんこさんデザイン（構成デザインはササカワトモコ）、のマップを製作。

各店舗にて配布中。

クリスマスマルシェ

12月24日に予定していた宝塚文化芸術センターでのクリスマスマルシェは参加希望する店舗が少なく、少数で開催しても集客が見込めずイメージダウンも予想されるため中止することとなった。

- 4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）

【事業の効果】

山本おさんぽマルシェ

マルシェ当日は曇りのち雨の予報。午後から一時強く雨が降った時間もあったが開始から終了まで客足はとぎれることなく無事に終了した。

マルシェに先行して10月1日からスタートしたスタンプラリーの来場者スタンプを会場にもうけたことも来場者増に効果があった。

来場者アンケート実施。

回答例

- ・知らなかった、存在を知って気にはなっていた店に立ち寄ることができてよかった。
猪名川町 40代 女性
 - ・楽しくて癒される
山本東 60代 女性
 - ・あたたかい雰囲気癒される。住んでみたいと思った。
尼崎市 40代 女性
 - ・普段入りにくい店に行けて楽しかった。
猪名川町 10代 女性
- などのご意見をいただいた。

市内のみならず近隣市からの来場者の存在はSNS等による事前の広報活動に効果があったと言える。

スタンプラリー

10月1日～10月31日実施。景品交換11月30日まで。

参加店舗45 (2019年実施時 12)

2019年実施時は山本おさんぽマルシェ立上げメンバーのみでのスタンプラリーを実施した。今回は山本界限の店をお客様に広く知ってもらい、できるだけたくさんの選択肢を設けることで来店機会の増加を目指すためおさんぽマルシェ会員以外の店舗にも参加を募った。

景品であるつのむらじゅんこさんデザインのリュック型エコバッグは予想を上回るほどの好評を博し、交換期限の11月30日を待たず10月末日にて予定数(200)が終了した。一人で複数枚獲得する参加者も存在。幅広い年代で使える仕様はスタンプを集めてぜひとも欲しいを思ってもらえる景品となった。

またスタンプラリー参加店舗に向けたアンケート結果(別紙参照)では参加して効果があった、また参加したいとの意見が多数であった。

一方でスタンプラリーのお客様への案内や配布方法など各店舗への周知の徹底が難しく、次回開催の場合に改善検討が必須である。

また景品についても、今回のようにぜひとも手に入れたいと思ってもらえるようなものを企画することが重要となる。

エコバッグは持参することで割引やプレゼントがもらえるエコバッグイベントを計画中。楽しんでもらえるイベントを随時行うことにより、店舗や地域のファンを増やしていく。

マップ製作

スタンプラリー景品のエコバッグと同じデザインのマップを製作。各店舗にて配布中。とてもかわいい仕上がりで大好評。

マップ片手に複数の店舗をまわるお客様が増加。最近山本に店が増えて楽しいという声も少なからず聞こえてくる。

今後もチラシや景品などに同じデザインのものを使用することでおさんぽマルシェのイメージを定着させ山本界限を広く衆知してもらう。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 清荒神参道 SOUNDS さらうんど実行委員会

1 事業種別	行政提案型
2 事業名	清荒神参道 SOUND さらうんど「塚電ノ光々祭」「参道 WEEK ENDERS」
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	実施時期：2023年8月12日、13日、19日、20日 場所：清荒神参道イベント広場 回数：計4回 内容： 清荒神にお店を構える有志による夏の夜のイベント「参道 WEEK ENDERS」とコラボ開催！ 暑い夏の日の週末に、特別な夜営業・企画を開催！ 参道の中腹にあるイベント広場にて、リュックサックマーケット(フリーマーケット)やモルック大会、最終日は光と音楽のDJナイトを開催！ この日のためにヅカデンが製作した、光る龍の「ピカ次郎さま」をお披露目し、街を、食を、雑貨を楽しんでいただける4日間でした。 参加者数：4日間で約2000人
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	参道の飲食店の各店舗からは 「お正月よりもお客様が来てくれた！」「お正月よりも売り上げが良かった！」と、老舗から新しいお店まで、幅広く嬉しいお声をいただきました。 開催直前にヅカデン/AHSO がテレビで取り上げられたこともあり、 「テレビを見て来ました！」「清荒神でイルミネーションが見られるなんて！」等、地元の方はもちろん、遠方からもお客様がお越しくださり、清荒神のことを知っていただけたとても良い機会となりました。 参道に昔からお店を構えていらっしゃる、老舗店のご主人たちから、 「自分達も昔、商店会で夜営業をやってみたが全然人が来ず、全く定着しなかった。今の若い人たちのパワーはすごい」と、お褒めのお言葉もいただき、参道のお店同士の絆が深まりました。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 壁がなければ実行委員会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	第2回 すべての人の作品展ぶらす
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	○ 公募展 無審査・無賞・無料・対象、分野不問の自由出品公募による作品展示 2023年10月5日(木)～9日(月)10:00～19:00 5日間 搬入 10月3日(火)16:00～19:15／搬出 10月10日(火)10:00～16:00 宝塚市立国際・文化センターギャラリー1・2・3 出品129名／会場運営ボランティア延101名 ○ ワークショップ ◆手織りてつながる 皆で古布を割き織りした片を繋げ作品化する 9月18日(月・祝)13:00～16:00 宝塚市立国際・文化センター会議室1 講師1名✓／補助ボランティア4名／参加者13名 ◇古布再生体験会(感染症対策のため施設巡回に替える) 10月7日(土)10:00～15:00 宝塚市立国際・文化センター会議室2 講師1名✓／補助ボランティア4名②✓／参加者8名 ◆描きてつながる 描くことによる表現の手ほどき 9月2日(土)17日(日)23日(土)14:00～16:00 宝塚市立国際・文化センター会議室1 講師延3名✓／補助ボランティア延9名／参加者延30名 ◆大地でつながる 苔テラリウムや木接ぎを通して自然環境や地域との共存を学ぶ 9月13日(水)14日(木)10:00～12:00 陽春園植物場 講師延2名／補助ボランティア延6名／参加者19名 ◆踊りてつながる 崩壊しかかっている地域のつながりを盆踊りで再構築する 10月7日(土)15:00～17:00 阪急宝塚南口駅前ロータリー広場 講師3名／補助ボランティア4名／参加者 30名 ◆大空でつながる お絵描き凧揚げ 地域子どもたちとアートでつながる 10月8日(日)13:00～16:00 宝塚市立国際・文化センター会議室1 講師1名✓／補助ボランティア6名／参加者13名
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	作品展示や関連ワークショップ等参加のみならず運営ボランティアにも、これまでイベントなどには参加したことがなかったという方が多くおられました。少しでも多くの方の居れる所、活動出来る所を創造する工夫は功をなし、世話をされる側・する側、主客といった際を取り除き、立場を問わず様々な方々が、各々の心地よい関わり方で役割を持ち、与え与えられ共に過ごせる場は実現したと思います。拘束がなく関わり方も程度も自由に選べて変えられる誰でもが何時でも在れるアートの力の功績です。イベントが一つの協同作業、共生の場を地域に開きました。どんなに集団は苦手だという方でも人は社会なくしては生きられない。継続開催はもとより、このような場を年1回ではなく、もっと頻繁に開催して欲しいとの熱いご要望を沢山戴きました。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 たからづか縁卓まちづくりネット

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	高齢者から子育て世代、子どもまでの交流によるお互いさまのまちづくり
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	◆10～11月 情報誌「もちつもたれつ」の制作（別紙もちつもたれつ参照） タブロイド判 4頁 発行部数 8,000部 …子育て世代とシニアの子育て応援活動をつなぐ媒体として、情報誌を発行しました。 ボランティアプラザ zukavo やファミリーサポートセンターの協力を得て、市内で活動するシニアの方々のインタビューや子育て応援活動を紹介しています。 川柳コーナーでは、市内のシニアサロンにて川柳を公募。20を超える応募がありました。 ◆12月3日（日） まちフェス（別紙チラシ参照） 場所 宝塚市立文化芸術センター 来場者数 約800人 スタッフ&協力者46人 出店者 18組（飲食7、工作など11） ステージ出演者 3組（手品、ハンドベル、腹話術） …ワークショップとステージは、老人福祉センターに登録の「一芸先生」や会場近隣のまちづくり協議会、社会福祉協議会が参加され、飲食ブースは、市内で子ども食堂の活動を行う団体や市内事業者を中心に声掛けし、参加を募りました。参加者には、孫を連れた祖父母の参加も多くみられ、普段、市内で活動されているシニアの方々の活動を知ってもらう機会にもなりました。 ◆2月12日、3月17日 講演会&トークセッション （別紙たまご育て応援講演会&交流会チラシ、2/12 アンケート結果を参照） 宝塚市子ども未来部子ども家庭支援センターと教育委員会社会教育課も同趣旨の講演イベントを実施する予定があることが判明したため、協働して「たまご（他孫）育て応援 講演会&交流会）」2回のイベントをシリーズで行いました。 ・2月12日：講演&トークセッション 場所 ソリオホール 参加者数 約40人 当団体が運営の中心となり、①棒田氏の講演「今ドキの子育て、孫育て」②「子育て当事者と考え、シニアの子育て支援」③市内公的3団体の活動の場について情報提供を行ないました。 ・3月17日：地域とともに「たから・まご育て」を広げよう （別紙3/17 アンケート結果を参照） 場所 中央公民館 参加者数 約30人 社会教育課・子ども家庭支援センターの運営にヘルプとして参画しました。 ①棒田氏による「2/12の振り返り」 ②「たから・まご手帳」の紹介と使い方の説明 ③交流会（こんなのあったら、いいなあーの発表）

4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）

◆情報誌「もちつもたれつ」の反響など

「孫との思い出や普段感じていることを五七五であらわすことができて楽しかった。次号があれば、また応募したい」という声が聴け、孫育てをしているシニアが普段感じている生の声をひろうことができるよい機会になりました。11月中旬に行われた社会福祉協議会の「社会福祉大会」ではブース出店し、参加者に情報誌を手渡しし、活動の周知を図る機会を持つこともできました。1面に掲載した「子育て応援スタイ（よだれかけ）」を読んだ方から、多数問い合わせがあり「好きな裁縫で子育て世代を応援することができるならやってみたい」「家でひとりでもできる裁縫なら、自分のペースでできるのでうれしい」などの反響がありました。社会福祉協議会が窓口となってくださり、これまでボランティアに興味はあったが参加するきっかけがなかった方が多く協力してくれる、シニアにとっても子育て世代にとってもうれしい「よだれかけ」を通じた交流を新たに始めることができました。

◆まちフェスの反響など

「こんなにたくさんのかどもたちが一同に集うイベントでびっくりした。こどもたちの笑顔が見られて、元気をもらった。地域活動に参加することがはじめてだったが、今回楽しかったのでまた参加したい」という声が出店者から聞かれ、地域の子育て応援活動への参加のきっかけをつくることができました。内容は子ども対象でしたが、祖父母の参加も見られ、「孫とゆっくり遊ぶことができて楽しかった」という声が聞かれました。宝塚市内で、子育てを地域全体で見守り応援するという機運の醸成の一步になっていると感じました。

◆講演会&トークセッション

宝塚市がシニア世代の子育て支援活動を推進するため「たから・まご手帳」を発行する動きがあり、本事業と主旨が合致したことから、講演会の実施においても子ども未来部からの協力が得られるなど双方にとりwin-winの連携ができたほか、教育委員会が生涯教育の視点でシニアの子育て支援を考えていることがわかり、行政との新たな協働の可能性が広がりました。

2月12日の講演会&トークセッションのアンケート結果は、全てのプログラムで満足度が高く、特に子育て中の3人が本音を披露したトークセッションでは9割が“とてもよかった”と回答し、反響が高いことがわかりました。また、参加されたフレミラ館長がこの講演をもっと多くの方に聴いてもらいたいと7月にフレミラ（老人福祉センター&児童館）にて同様の講演会を計画されています。

更にシニアの子育て支援実活動を促すため6月8日にファミリーサポートセンターと当団体とのコラボにより市民向け講演イベントを行うことを計画しています。

以上 私たちの活動は市民、他組織にも共感を生み、広がりがつつあります。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 NPO 法人たんぽぽルーム

1 事業種別	<u>行政提案型</u> ・ 自由提案型
2 事業名	つながろう！地域交流広場！
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	○2023年6月17日（土）「安倉会館に花を植えよう&地域交流広場」 参加者…大人21名 小学生幼稚園児30名 乳児4名 ＜内容＞安倉会館の花壇の整備・花植え・室内遊び・シャボン玉遊び 絵本講師による絵本の読み聞かせ ○2023年11月5日（日）「地域交流バザー」来場者…約300名以上 ＜内容＞地域の方による手作り品等の販売や子供の遊び場コーナー、お話広場 ○2023年11月17日（金）「歌とお話を楽しもう！」参加者…大人5名2～3歳児15名 ＜内容＞ストーリーテラーしみずまゆこさんによる歌とお話を地域の子供達と楽しむ。 ○2023年12月1日（金）「安倉会館に花を植えよう&地域交流広場」 参加者…大人12名 幼児15名 ○2023年12月12日（火）「人形劇を楽しもう」参加者…大人6名2～3歳児17名 ＜内容＞人形劇団こむさんの人形劇を地域の子供達と楽しむ。 ○2024年1月12日（金）「デコ巻きずし作り」参加者…8名（乳幼児4名） ○2024年2月29日（木）「お灸教室」参加者…7名（幼児2名）
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	○ 地域の様々な団体が活動で使用する安倉会館が地域でつながり合う場所になるように環境整備をしたり集える広場を開催したりした。殺風景だった会館がみんなで植えた花でいっぱいになり道行く人や来館する人の目に留まり、声をかけてくれるようになった。交流広場では親子連れがたくさん集まり、父親が参加する姿もあった。また、親子同士の関りもたくさん見られた。幅広い世代で子育て仲間がほのかな関りが出来、顔見知りになれたことは子どもにとっても親にとっても良い機会であったと捉える。 また、幼児教育無償化以降、保育所、私立幼稚園等子どもが通う場が分散され知り合いが少なくなりつつある中、お話広場や人形劇などを同じ地域の子供達と一緒に楽しむ機会は貴重な機会であった。 ○ 秋の「地域交流バザー」では家族連れを中心にたくさんの来場者があった。近隣の方やシニアの方が来られる姿もあり会館が賑わいの場となる効果はあった。また、来場者と出店者との会話ははずみ、「楽しかった」と言いに来てくださる方が多く、成果はあったと感じる。 ○ 今年度は集いの場を地域の方と一緒に作れたこと、集いの場があることを知ってもらえたことで楽しみにしてくれる人が増えた。まずはひとつ前進したと言える。しかし、取り組みの中では、子育て世代とシニア世代が交流を深めていくことの難しさなど、見えてきた課題も多い。活動を知らせていく中で感じたことは「楽しそうだけれど…行ってみたいけれど…」という気持ちはあるが単独では行きにくいという印象を受けた。今後はどんなことをしているか具体的なお知らせをし、立ち寄ってみたいくなるような場を引き続き整備し、地域の人たちが集まり、地域が大好きになるような取り組みを目指していきたい。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚市グラウンド・ゴルフ協会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	第2回市民ふれあいグラウンド・ゴルフ大会
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	令和6年3月14日（木）に宝塚市立高司グラウンドにおいて午前9時に受付を開始し、本部席前に整列・点呼の後9時30分からの開会式に引き続いて赤色、青色、黄色の3コース×8ホール合計24ホールを途中で10分間の休憩を挟みながらプレーして頂きました。提出頂いたスコアカードを集計したところ1位と2位の方の合計打数が全く同打数であった為、ニアピンゲームで順位を決定させて頂きました。11時30分から成績発表、表彰式の後閉会式を11時40分に終わりました。参加人数は108名です。
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	グラウンド・ゴルフ日和の好天に恵まれ、参加者の皆さんに元気に楽しくプレーして頂くことが出来ました。又、グラウンドキーパーの方が早朝よりグラウンドの整備をして頂いたおかげで、グラウンドのコンディションが良かったことも有り、たくさんの方がホールインワンを達成され、喜んでおられました。94歳の最高齢者の方をはじめ皆さんが和気あいあいと元気にプレーしておられる姿を観て、グラウンド・ゴルフは素晴らしいなと感じました。生涯スポーツであるグラウンド・ゴルフはロコモティブシンドロームや転倒の予防に効果的であり、仲間との交流により心と身体の不安感が少ないことにより心と身体の健康をより長く保つ事は医療費の低減に繋がり、健康寿命の延伸により、何時までも元気に活動できるシニアを増やす事に繋がると確信します。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚第一小学校区まちづくり協議会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	一小宝梅ハウスまつり
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	実施時期 令和 5 年 10 月 29 日（日）11 時～15 時 実施場所 一小宝梅ハウス 回 数 年 1 回（今回で 5 回目の開催） 参加者数 120 名 内 容 宝梅ハウスを利用している書道教室の生徒作品や趣味の会、高齢者サロン 参加者の手作り作品の展示、地域の方の特技を生かした「ハーモニカミニコンサート」 「N ゲージ鉄道模型の実演」等を行いました。ハーモニカ演奏時には 2 階の会場から 聴衆がはみ出すほどの盛況でした。また、バルーンアートの実演コーナーでは、たく さんの子どもたちがボランティアの指導の下、楽しそうに作品を作っていました。駐 車スペースを活かしたカフェでは無料でぜんざいやコーヒー、ジュースなどの飲み物 を提供し、来場者の休憩場所や隣り合わせた人との語らいの場所として大いに賑わ い、皆さんには思い思いに楽しんでいただけたと思います。 世代を超えて地域住民が集う賑やかなお祭りになりました。
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	当日は、近隣の商業施設やお寺などでも同様のイベントが開催されている中、子ども から大人まで 120 名の来場者があり、大盛況となりました。 地域の方が特技を活かした分野で参加し、生き活きと取り組むことで、心身ともに活 性化する機会になったと思っています。このイベントを通じて、これからの地域の担い 手の発掘にもつながると期待しています。また、地域の賑わい、多世代交流の活性化、 住民同士のふれあいの場づくりを一步進めることができたのではないのでしょうか。 これを機に、子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、楽しく集う場所として一小 宝梅ハウスが住民に受け入れられ、利用される施設として広く認知されれば利用者の増 加につながる・・ひいては、まち協の活動にも関心が深まり、活動メンバーも増え、一 小まち協がますます活性化していくと考えます。小さな場所での小さな祭ですが、これ らのことを期待して、今後も継続していきたいと思っています。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 伊子志自治会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	消防本部前交差点、植栽柵所の綺麗な花壇
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	場所は、消防署前近くの広い交差点の一角で、植込み用の構造物状態でした。 R5年春に、伊子志自治会を通して、宝塚市道路管理課と県土木の2者に計画と立案してから、県土木と市に許可申請を提出しました。 R5年5月、2者に許可されてから、きずなづくり推進事業にも応募して、補助金交付許可も頂きました。 事業は、先ず県土木に、防草シートと碎石を撤去してもらう予定を確認して、9月に開始しました。 電気、ガスのマンホール構造物や、信号、電気、照明等の柱の位置を配慮して、花壇柵の位置を決め、花壇柵を設置しました。花壇柵には、植木の町としての宝塚をイメージし、剪定した丸太を使用して趣を大事にしました。 花壇には、秋植えの花植物を、県土木とNPOの道路アドプトに準じて行い、自治会や市内の人々に参加を募り、11月上旬の日曜日には、16名の方が参加されました。 道路アドプトは、年2回、秋と春に実施します。 周辺環境を良くするとともに、長期にわたる花植込み等の共同作業を開始しました。
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	現地の花壇場所は、市役所近くのメインストリートの一角に位置してありましたが、長年にわたり破れた防草シートで放置されていたこともあって、作業しているときに、通行人から、風景が変わったことに関して、何かしら多くの声掛けして頂き、やりがいを感じていた次第です。 花壇は、年2回(秋と春)の花苗の植替え補充を、市民の参加を募り、市民が制作した花壇として、より一層の綺麗な花壇として有名な場所となってほしいです。 花壇制作活動は、今回で2例目、1例目は数年前に開始した末広小学校正門前の県道歩道部訳100mで、こちらも保守管理している時に、挨拶や御礼等の声掛け頂き心が和みます。 市役所周辺では、現在様々な工事が行なわれていますが、庁舎東部の公園広場に、長年放置状態の植物帯が多数見受けられます。できるだけ皆様から喜ばれる活動の輪を広げていきたいです。